

< 参考資料 >

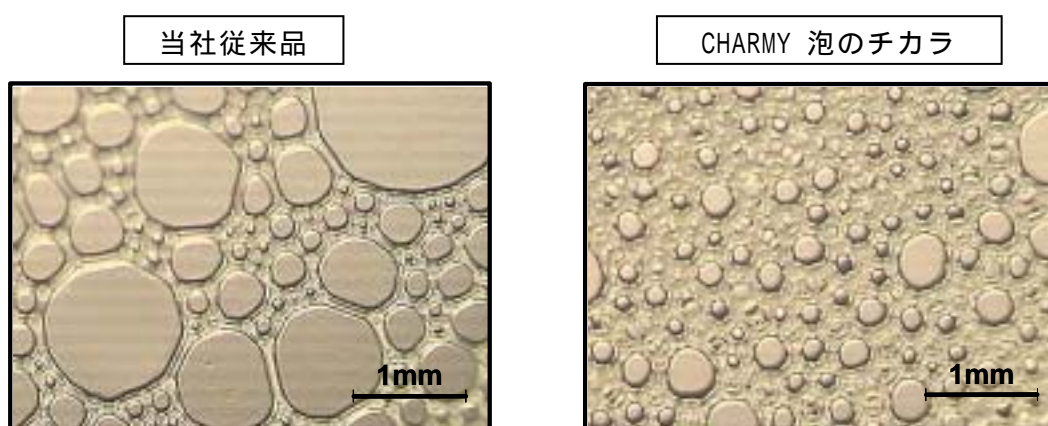
新洗浄成分 S A S とミネラルイオンによる当社独自の “ クリーミーな持続する泡 ” で、食器洗いが一気にでき、高い洗浄力が持続するメカニズム

1 . 新洗浄成分 S A S を採用した “ クリーミーな泡 ” は、油汚れと効率よく接触し、高い洗浄力を発揮する

新洗浄成分 S A S (アルカンスルホン酸ナトリウム) は高い疎水性を示し、すばやく表面張力を低下させることができることから、従来の界面活性剤と比べて、豊かな泡を生成します。さらに、個々の泡の体積が従来の界面活性剤と比べ、約 10 分の 1 と小さいので、豊かで、きめの細かい “ クリーミーな泡 ” となります (図 1) 。

『CHARMY 泡のチカラ』の “ クリーミーな泡 ” で食器を洗うと、泡全体の表面積が大きく、油汚れとの接触面積が大きいことから、汚れを取り込みやすいので、高い洗浄力を発揮します。

図 1 . 泡の比較 (顕微鏡写真)

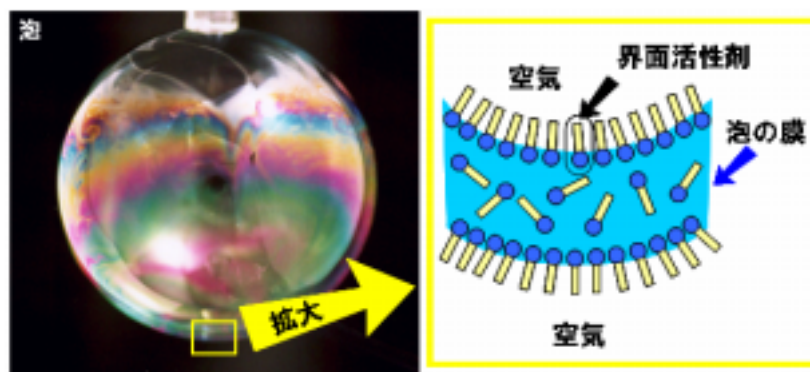


2 . ミネラルイオンの採用により、食器洗いの時、“ クリーミーな泡 ” が持続する

当社調査によると、食器洗い
の時、泡が持続すると、
「汚れが落ちている実感」が
高く、さらに「気持ちよさの
実感」があることが明らか
になりました。

泡は、界面活性剤を含む水
溶液の膜できており (図 2) 、
泡に油汚れが付くと、泡の膜
の中の界面活性剤が油汚れを
取り囲みます。

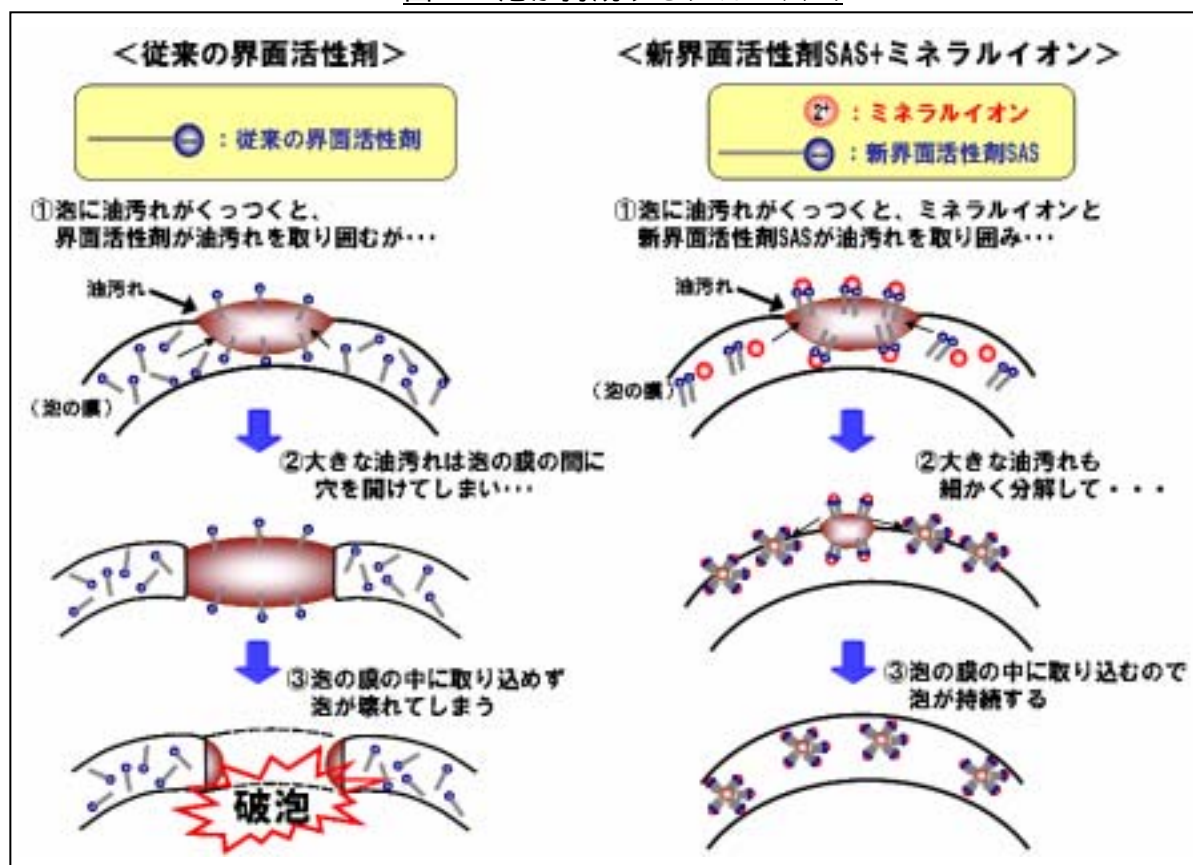
図 2 . 泡の構造



従来の界面活性剤の場合、泡に大きな油汚れが付くと、泡の膜の中に取り込めず、泡が壊れて破泡してしまいました。

一方、『CHARMY 泡のチカラ』の泡は、新界面活性剤SASとミネラルイオンの採用により、泡に油汚れが付いた時、泡の膜の中で油汚れをすばやく分散することができます。従って、大きな油汚れも泡の膜の中へ細かく分解して取り込むので、泡が破裂しにくく、“クリーミーな泡”が持続します（図3）。

図3．泡が持続するメカニズム



- 3．当社独自の“クリーミーな持続する泡”は、高い洗浄力も持続する
新洗浄成分SASとミネラルイオンによる当社独自の“クリーミーな持続する泡”は高い洗浄力も保持します。『CHARMY 泡のチカラ』の洗浄力（食器洗い枚数）は、従来品に比べ30%向上しました。